

2 学習指導過程

| | 基本発問と予想される児童の反応 | 指導・援助 |
|------|--|---|
| 導入 | <p>○物事を最後までやり遂げてうれしかったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全然できなかった二重跳びを何度も練習してできるようになってうれしかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケート等を実施し児童の実態を把握する。 ・「最後までやり遂げることができたのは、どうしてなのかな」と投げかけて展開に入る。 |
| 展開前段 | <p>◇資料提示をし、範読する。</p> <p>◇感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故郷の岐阜県本巣市から、こんな世界的な学者が生まれていたなんて知らなかった。 ・こつこつ取り組むところがすばらしい。 ・自分は貞治さんのように、あきらめずに粘り強く取り組むことができないので見習いたい。 <p>○食事をしている時も、学校の行き帰りの時でも、時間さえあれば夢中になって考えて難問が解けた時、貞治はどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっと解けたのでうれしい。 ・あきらめなくてよかった。 ・いつもどんな時も考えていたから解けた。 ・粘り強く頑張れば、自分でもできる。 <p>○わからない問題について、フロベニウス教授に教えを受けようとしたが「これはおもしろい問題だ」とだけ言われた貞治は、どんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないから尋ねたのに、どうして教えてくれないのだろう。 ・困ったなあ、どうしよう。 ・何がおもしろいんだろう。よし、絶対に自分で見つけてみよう。 ・前にも、自分で時間をかけて粘り強く取り組んだ結果、解けた時があったように、今回も自分でやってみよう。 <p>◎100年も前から誰も解くことができなかった「類体論」を解くことをテーマとしたのは、どんな思いからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できないと決めつけず、解けるまでやってみよう。 ・今までのように粘り強く取り組めば、きっとできる。 ・無理だとあきらめてしまうのは簡単だけど、それではいつまでも解けないままになってしまう。 ・どんなにづらい状況であっても、ひたむきに取り組むことで達成感が味わえる。 ・厳しい孤独との戦いでも、やると決めたことを粘り強く取り組むことで、できた時には、すごい自信になる。それが困難を乗り越える力になっていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主人公は現在の本巣市の出身であることを伝える。 ・率直な感想を交流し、主人公の努力する姿に触れ、憧れがもてるよう、主人公の生き方について焦点を当てて考えていくことを確認する。 ・どんなときにも数学の問題のことを考え、粘り強く取り組むことで得られる達成感に気付かせるために、部屋中を小踊りして喜ぶ主人公の気持ちに共感させていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の心の弱さが捉えにくい場合は、「よしやってみよう！と簡単に思えたのか」と問い返すことで、困難に出会っても自分の力で乗り越えようとした主人公の意志の強さに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・誰も解くことができない「類体論」を一人で解こうとしたのは、どんな思いからなのかを考えることで、困難に出会ってもあきらめずに取り組むことが自信となり、乗り越えていく力になっていくことに気付かせていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【深めの発問】 ★何日も何日もかかって繰り返し検討することは、厳しい孤独との戦いであるのに、なぜそこまでして取り組もうとしているのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・今までも常に数学の問題を考えたり、分からない問題を人の手も借りず取り組んだり、自分の力でやりきってきた背景には、自らの強い意志があったことに気付かせていく。 |
| 展開後段 | <p>○高木貞治氏の生き方から学んだことは何ですか。ノートに書いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら困難に向かってあきらめずにとことん取り組むことが自分にはなかった。粘り強く取り組んでいくことは大事だ。 ・最後までやり遂げてうれしかったことは今までもあったけれど、やり遂げることが、困難を乗り越える力となっていることを改めて感じた。これからも、あきらめずにとことん取り組んでいきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の姿を見つめ、高木貞治氏の生き方から学んだことを明らかにし、これからの自分の生き方について考えさせていく。 |
| 終末 | <p>◇教師の説話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師のあきらめずにやり遂げて自信になった経験について語る。 | <p><変容の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今までの自分はすぐにあきらめてしまい、最後まで取り組めた経験があまりなかった。自分で決めた目標をやり遂げると自信になり、また次の目標を乗り越えるエネルギーにもなるんだ。途中で投げ出さず取り組んでいこう」などと自分を見つめ、目標に向かって前向きに歩もうとする気持ちをもっている。 |

